

「学びの教室」

駒本小学校特別支援教室直通電話 3827-5575 (ファクシミリ兼用)

通信

令和3年10月26日
特別支援教室「学びの教室」
巡回指導拠点校・通級指導校
文京区立駒本小学校
校長 吉岡 淳
文京区立汐見小学校(巡回校)
校長 永井 昌美

家庭でしかできないこと(!?)

第6号の特別支援教室通信を発行した1か月前と比べると、だいぶ気温が下がり、“暑がりさん”にとっては過ごしやすくなってきたように感じます。一方、秋冬物の服を着させようとしても、お子さんがスッと移行してくれず、ご苦労されたご家庭もあるのではないのでしょうか。

さて、拠点校駒本小学校の特別支援教室では、先日、発達の専門家の先生(心身障害児総合医療療育センター)からスーパーバイズを受ける機会がありました。私達教員の日頃の指導の中での疑問や質問にも丁寧に答えていただきました。その中で、読み書きが苦手なお子さんについて、家庭でもできるアプローチとして、「可能であれば、家族内でメッセージアプリ(LINEなど)を活用して、やりとりを繰り返すことはどうですか。」という提案を受けました。確かに、アプリを使うと、書字自体に困難さを抱えるお子さんはもちろんのこと、特殊音節*の読み書きに弱さがあるお子さんも、予測変換機能などを入力支援の手段として使うことで、正しい表記を負荷をかけずに学習することができます。



前号で特集したオーディオブックなども同様ですが、このようにデジタルデバイスを活用することは、弱い側面を補いつつ、必要とする能力を伸長させられるという利点があります。メッセージアプリの利用を含めて、ご家庭の方針もあるかとは存じますが、お子さんにとって活用の価値がありそうでしたら、是非ご検討ください。

*小さい「っ」の詰まる音(促音)、「う」や「お」で表す伸ばす音(長音)、小さい「ゃ」「ゅ」「ょ」の拗音など

<個人面談へのご協力、ありがとうございました>

秋季個人面談にご協力いただきありがとうございました。次回の個人面談は、12月15日~24日を予定しています。希望制の面談となります。

<11月のコミュニケーションタイムの主な学習予定>

「トントン相撲 令和三年秋場所」

・2度目の登場となるトントン相撲です。各々の児童が丁寧に着色作業をした紙相撲力士を使います。微細運動を中心として身体の各部位の協応を高めたり、成否にこだわり過ぎずに活動そのものを楽しもうとする姿勢を養ったりします。

「動画で名探偵」

・動画やタブレットでリアルタイムで映し出される映像を見て、出題された物や場所を答えるクイズ形式の活動です。視覚情報を基に推論する力を高めることなどをねらいます。

「リバーシ」

・チームで対戦する「ひっくり返しゲーム」です。粗大運動を中心として身体の各部位の協応を高めたり、勝敗を素直に受け入れる素地を養ったりします。

学習指導要領「自立活動」 2. 心理的な安定 4. 環境の把握 5. 身体の動き 6. コミュニケーション